



現地見学会の報告(11月16日実施)

令和3年11月25日

福知山河川国道事務所

由良川の地域特性を踏まえて実施している下記の治水対策等の現地見学会を実施しました。

- ①由良川防災ステーション
- ②連続堤防(前田・川北地区)
- ③弘法川排水機場
- ④浸水センサーを活用した地区別住民通知システムのモデル地区(大江町蓼原)
- ⑤輪中堤(舞鶴市三日市地区)

①由良川防災ステーション



・「由良川防災ステーション」は、水防活動及び復旧活動を行う上で必要な土砂やブロックなどの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものである。

・洪水時には、市町が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う拠点となる。



土のう用土砂



備蓄資料(異形ブロック、雑割石)



概要説明の様子①

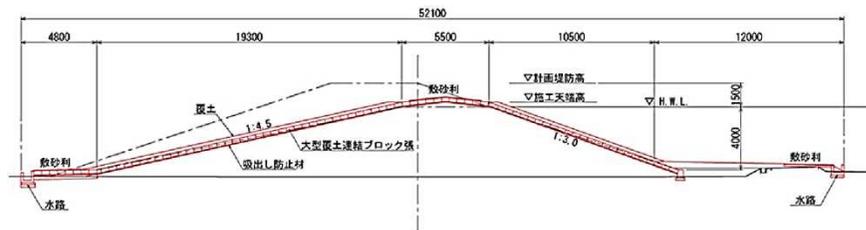
種別	用途
災害対策車格納庫	災害対策車両、水防資材の格納庫等
水防センター(福知山市)	水防倉庫、防災備蓄倉庫、消防団等の待機室等
駐車スペース	緊急復旧活動や水防活動時の作業員等の駐車スペース
資材置き場	土のう用土砂 1,520m³、異形ブロック 675個、雑割石 1,350m³、非常用の土砂として造成盛土の一部を 6,200m³採取可能
ヘリポート	緊急輸送用ヘリコプターの離着陸場所

②連続堤防(福知山市前田・川北地区)

- ・由良川中流部では、連続堤防整備と河道掘削の治水対策を実施している。
- ・川北地区は令和2年5月に築堤が完成している。
- ・前田地区は築堤が概ね完了しており、接続ブロックの布設を実施している。



標準断面A-A (H.W.L堤)



事業期間 平成25年11月～
 (前田地区着手 令和元年6月～)
 築堤延長 L = 約 1.7 km
 築堤盛土 V = 約 21万m³



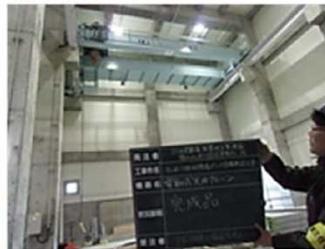
③弘法川排水機場

- ・由良川本川の出水時に、本川の樋門が閉鎖することにより生じる内水被害を軽減するため、弘法川排水機場において9m³/sのポンプと排水ポンプ車ピットを新設している。
- ・9m³/sのポンプは約40秒で25mプールの水をすべて排水する能力がある。

①減速機・主原動機



②天井クレーン



③監視盤室



④自家発電機



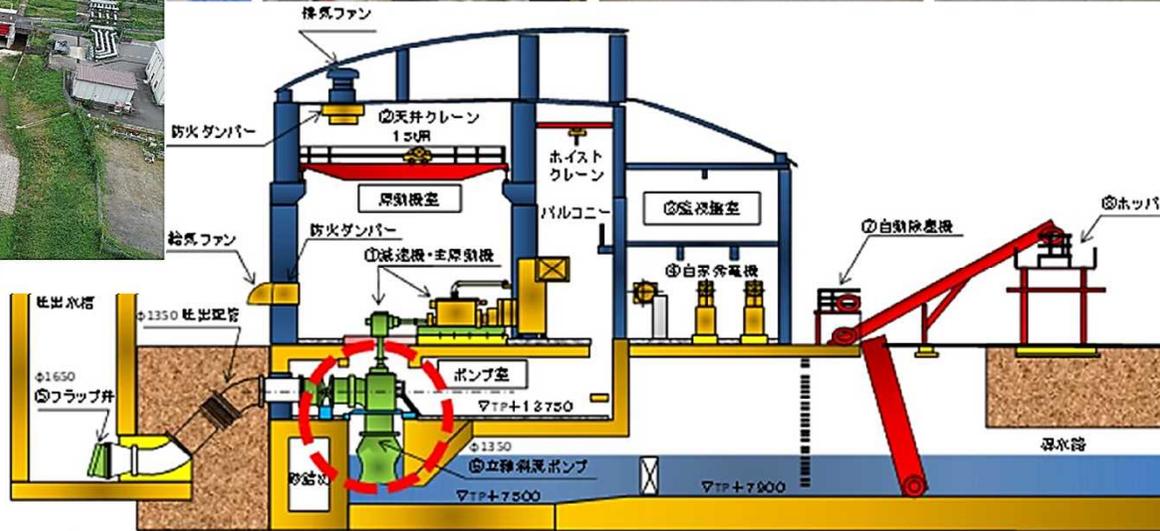
概要説明の様子



減速機・主原動機



弘法川排水機場



立軸射流ポンプ



⑤フラップ井



⑥立軸斜流ポンプ



⑦自動除塵機



⑧ホッパ



操作室

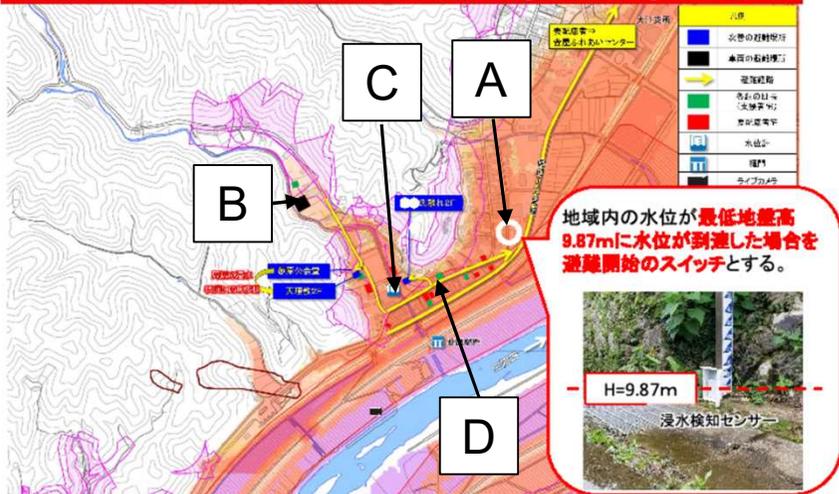


④浸水センサーを活用した地区別住民通知システムのモデル地区(福知山市大江町蓼原)

避難スイッチとして浸水検知センサーを活用

page 5

大江町蓼原地区防災マップ(暫定版)



福知山市では浸水センサーを活用し、避難開始水位(避難スイッチ)に浸水が生じたときに、地区別住民へ通知するシステムを構築している。



A 福知山市による概要説明の様子①



B 福知山市による車両避難所説明の様子②



浸水センサー

LINE、メールを通じてスマートフォン等携帯端末に通知する



C 蓼原川危機管理型水位計

既往浸水水位標

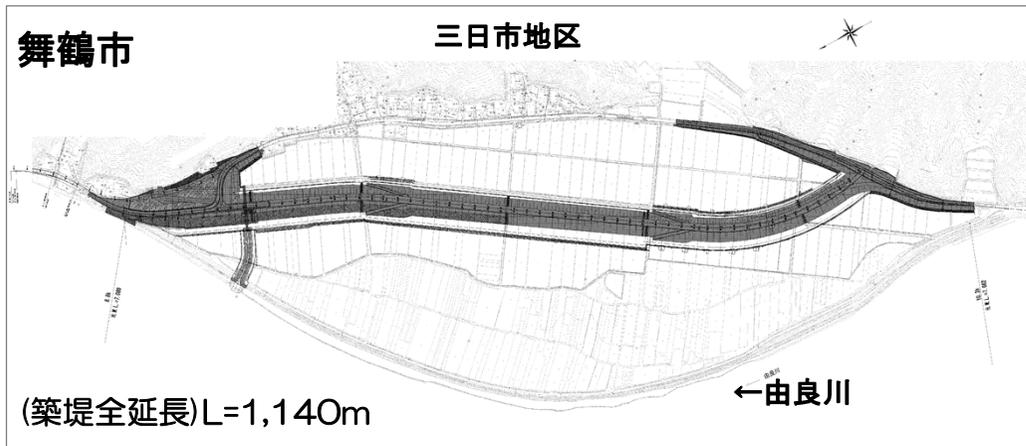


D 蓼原地区の既往浸水水位標

福知山市による浸水センサーの説明状況

⑤輪中堤(舞鶴市三日市地区)

- ・由良川下流部においてはHWL以下の家屋が存在する全地区を対象に輪中堤、宅地嵩上げを実施している。
- ・輪中堤とは、ある特定の区域を洪水の氾濫から守るために、その周囲を囲むようにつくられた堤防である。
- ・三日市地区の輪中堤は、令和2年5月に完成している。



三日市地区 (平成25年9月台風18号洪水時)



三日市地区 (築堤完成後 (令和2年5月完成))



概要説明の様子



堤内側の状況